

平成3年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立双葉西小学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部分」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語は、全国や県の平均正答率を大きく上回り、算数はほぼ全国並で県の平均正答率をわずかに上回っています。
- ・国語では、「話すこと・聞くこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」の分野に優れ、特に「目的や意図に応じて、理由を明確にしなが、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」ことが、全国の平均正答率を12ポイントも上回っています。一方、「記述式」の分野は全国・県と同様苦手分野となっており、「資料を使って話す」ことに課題が見られます。
- ・算数では、「データの活用」や「変化と関係」の分野に優れ、特に「複数の図形を組み合わせた形について構成の仕方をとらえる」や「グラフから数量を読みとる」ことが秀でた部分となっています。一方、「数と計算」や「図形」分野は苦手傾向にあり、特に「速さと道のりの計算」や「図形の求積」が課題となっています。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

・よい傾向がみとめられる項目

家庭での正しい生活リズム、自己肯定感、いじめへの認識、集団活動や学習活動への意欲ややりがい感、友達の考えを受け止めるなど、多数の項目において全国より良い傾向がみとめられました。特に、「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」については、100%の数値を示しています。

・課題となる項目

「携帯電話やスマートフォン、コンピュータについての約束」や「コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯やスマートフォンを使ったゲーム時間」は、全国並に課題が見られます。ICTの活用についても全国同様低い数値を示しています。学校での一人一台端末活用推進とともに、これからの課題と言えます。特にスマートフォン等に関わる約束が守れていないことが目立ち、そのことが半数を占め、他の項目に比べて圧倒的に低い数値を示しています。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・ICT機器を活用し、主体的・対話的で深い学びのできる授業づくりに取り組みます。
- ・児童の思考力、判断力、表現力を伸ばすために、図やグラフ、資料等を提示しながら自分の考えや思いを伝え合う場面を意図的に設定し、学年をとおして「学び合いの授業」づくりに引き続き取り組んでいきます。
- ・国語では、読書を推進するとともに、ニュースや新聞記事から必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えや解き方について具体的に書いたりする学習活動を進めていきます。
- ・算数では、具体物・半具体物を操作しながら図形を構成したり分解したりして、図形についての見方や感覚を豊かにする学習活動を進めていきます。
- ・数直線、絵や図、数式等を用いて答えを導き、皆で学びあう時間や学習内容を振り返る時間を作ります。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・ゲームの長時間化防止のために、家庭でゲーム時間を話し合い、守らせましょう。
- ・テレビ、スマートフォン等に使用に関わる家庭ルールを決め、しっかりと守らせましょう。
- ・朝食の摂取、睡眠時間の確保等、今後も児童の安定した生活習慣づくりをお願いします。